

## 演題 咬合の重要性

～私が歩んできた歯科技工を含めて～

Organ Dental Lab 長谷川篤史

私は約20年間の歯科技工人生の中で咬合理論を中心に学び歩んできた。咬合と聞くと特に若い技工士の方々は縁遠い話に聞こえるかもしれない。しかし私たちが製作する補綴物の大半はこの咬合が関与している。その事から私たち技工士が製作している多数歯欠損はもちろん、少数歯欠損のクラウンやインレーにも必ずと言っていいほど咬合が関与し、多くの技工士が日々咬合に携わり仕事をしているはずである。そのような環境の中でより良い補綴物を製作する為に我々歯科技工士は咬合へ着目する必要がある。今回オクルーザルコンパスを中心に、私が歩んできた歯科技工士感を含めて話させて頂き、明日からのワークアップやCAD/CAMでのデザインに臨床応用していただければ幸いである。